

いきいき

チャレンジたいけん

レポート

11月中に、市内の中二学年を対象とした職場体験「いきいきチャレンジたいけん」が行われました(一部は来年1月実施)。生徒たちはそれぞれの職場で何を感じ、何を学んだのでしょうか。市役所に職場体験に訪れた笠岡西中の大山将司くんと齋藤雅史くんが突撃取材してくれました。

すみれ会共同作業所

すみれ会は、精神障害者の人たちが自立した生活を送るために通っている作業所です。笠岡東中の生徒が四人来ていて、会員の人たちといっしょにフルーツキャップを作っていました。

すみれ会の川崎会長に話を伺うと、「職場体験の学生さんたちが来るようになって、みんな顔色がよくなり、うれしそうに良かったです。」と語ってくださいました。

浅野石油番町給油所

この職場には笠岡東中と神島外中の生徒一名ずつが来ていて、取材に行ったときは接客の最中でした。

追田所長にお話を伺うと、「自分の親が家族のために働いていることを知って、子どもも協力してあげてほしい。」と話してくださいました。

また、生徒たちは、「最初は窓ふきでも大変だったけど、今はもう慣れてきた。」「接客なので責任があり、緊張した。」と話してくださいました。

瀬戸内荘

笠岡東中の生徒四名が施設内の清掃や入所者との交流をしています。

生徒たちは、「お年寄りが大好きで、お年寄りに接してみたいから、この場所を選びました。お年寄りが退屈しないように、楽しい気持ちになっ

す。話しをしたら必ず返してくださいるので、うれしい気持ちになる。」とコメント。



阿曾沼施設長は、「生徒さんたちはありがとうと言われることが本当にうれしいみたいです。ここにいる人たちは生きることに純粹になっています。それを見て純粹に感じる心を育ててほしいです。」と話してくださいました。

子ども劇場笠岡センター

ここでは、職場体験で笠岡西中の生徒二名が、子どもたちの世話や食事の準備をしています。生徒たちは、「子どもたちの世話や話しをするときに楽しい。子どもと接しているときは、ケガをさせないように気をつけている。みんな明るいし楽しいからいい

ところ。」と話していました。子ども劇場の人は、「人間のつながりを学んで帰ってほしい。職場体験で来てくれて、子どもたちが明るくなった。とても助かっています。」と話してくださいました。

笠岡放送

笠岡放送では、三人の笠岡西中の生徒がスタジオでニュースの原稿を読んでいます。



ここでは、取材をして原稿を作り、ニュース番組を制作しているそうです。生徒たちは「取材をやっているときは難しいけど楽しい。原稿を書くときは文法に気をつけなければいけないので役にたちます。国語の授業みたい。」事業所の人は、「仕事の大小

変さとか社会のしくみを学んでほしい。あいさつを大事にしてほしい。」とコメントしてくださいました。

取材を終えて

大山将司くん

いろいろなところに取材に行つて、インタビュウのときは緊張したし、原稿をまとめるときはいろいろとまどつた。他のいきチャレの人たちを取材して、みんな「最初はど

齋藤雅史くん

実際に市役所に来て、広報紙を作る仕事とは思わなくて、どういうことをすればいいのか最初は分からなかったけど、この四日間ですいぶんと理解してきたと思います。市役所といえどデスクワークくらいしか思い当たらなかつたけど、外に出て取材をするようなこともあるんだという新しい発見もあって、この職場に来て良かったです。